

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network

# Now

2021 No.544

4 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



会員の皆さまへ重要なお知らせ

## 医師の働き方改革に伴う 診療放射線技師の業務拡大と告示研修

2017年8月に「医師の働き方改革に関する検討会」が発足し、医師の時間外労働規制の具体的な在り方、労働時間の短縮策などについて、22回にわたって議論された。2019年3月に取りまとめられた検討会報告書によれば、2024年4月から勤務医の時間外労働上限が、原則、年960時間以下、救急部門や研修医などについては各医療機関に健康確保措置を義務付けた上で特例的に年1,860時間以下となる。また医療は、医師だけではなく多様な医療専門職種の連携によりチームで提供されるものであり、医師から他の医療専門職種への業務の移管（タスク・シフティング）や業務の共同化（タスク・シェアリング）を推進することにより、患者へのきめ細かなケアなどによる質の向上や、効率的な医療提供を進めることが可能になるとの観点から、積極的にタスク・シフト/シェアを推進していくことになった。

2020年12月に取りまとめられた「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」における議論の整理によれば、診療放射線技師に対して法令改正を行いタスク・シフト/シェアを推進する業務は下表の通りとなった。法律に関する事項は、医師の働き方改革関連法案として国会へ提出されるとともに、政省令事項について

は、順次改正を行っていくとされた。この議論の整理を受けて、2021年2月2日に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が国会へ提出された。

また検討会での議論と並行して、2020年7月から「令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）」において、診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立および学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究が実施されている。

2021年2月に総括研究報告書が取りまとめられ、診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士の研修内容などを策定するに当たって、タスク・シフト/シェアを行う業務内容に関連する医師と看護師の意見について、3職種の教育・研修内容、告示科目、審査基準等の策定・修正を検討し、追加業務に関する有資格者研修のカリキュラムの開発と、学校養成所カリキュラムの見直しに関して提言をまとめている。

告示研修カリキュラムの項目と時間数は、診療放射線技師有資格者に対する研修時間としては、基礎研修700分、実技研修385分の計1,085分となる。なお、実技研修385分のうち

タスク・シフト/シェアを推進するために法令改正が必要な業務（診療放射線技師関係）

	実施可能とする行為	対象法令
1	造影剤を使用した検査やRI検査のために、静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	法律・政令
2	RI検査のために、RI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為	法律
3	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為	省令
4	下部消化管検査（CTコログラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為	省令
5	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為	省令
6	医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査	法律

ち、実際症例などの動画視聴が165分、実技訓練は220分（1人当たりの実技時間）である。基礎研修については全てオンライン講義となるが、履修確認をすることが非常に重要となるため、ログによる動画の視聴確認と視聴後の確認試験を実施することになる。また実技訓練についてはシミュレーターなどを活用した対面による実習となる。

診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立および学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究を受け、2020年10月から3回にわたり日本診療放射線技師会・日本臨床衛生検査技師会・日本臨床工学技士会の3団体において、有資格者研修カリキュラムの実施に向けた協議を行った。また年間の受講目標人数や都道府県もしくは地域での開催実施計画についても議

論した。今後、テキスト作成やオンライン講義のコンテンツ作成などについては医師会や看護協会の監修を得た上で、共通部分については3団体で共同して作成することになった。

医師の時間外労働の上限規制が適用される2024年4月に向けて、医師の労働時間短縮を進める観点から、可能な限り早期にタスク・シフト/シェアが実施されることが望ましいと考えられ、本会としても告示指定の通知が発出された後、すぐに告示研修が実施できるように準備している。今回の有資格者に対する研修は義務研修になることから、診療放射線技師免許取得者約5万5千人に対して告示研修が実施できるように、十分な研修システムの構築・周知を行っていく予定である。詳細は、会誌4月号を参照されたい。

（公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長 児玉直樹）

## 2020年度 第8回理事会（臨時）開催される （Web開催）

2021年2月10日（水）午後7時より、Web会議システムにより2020年度第8回理事会（臨時）が開催された。過半数以上の理事の出席があり、本理事会は成立した。

冒頭に上田会長よりあいさつがあった。本理事会は会費に関わる内容であり、先延ばしになれば各都道府県技師会への対応に影響するため、臨時による開催となった経緯が述べられた。

主な議題は、「2021年度からの会費額変更について」「会費等納入規程改正案について」「第82回（臨時）総会の開催について」「2021年度会費免除者の承認について」であった。

「2021年度からの会費額変更について」では、江藤理事より資料に基づいた詳細な説明があった。来年度以降も継続的な費用削減効果を見込んだ会費の減額案について、理事会・総会・運営会議などのWeb化による会場費・旅費通信交通費の削減、事務局移転に伴う事務所費用の削減により、来年度より全ての会員の会費を1人当たり千円減額することが提案され、賛成多数で承認された。

これに伴い、江藤副会長より会費等納入規程改正案について、江田総務理事より第82回（臨時）総会の開催および2021年度会費免除者が提示された。全て賛成多数で承認された。なお、臨時総会は3月14日（日）午後2時より、Web会議システムにより開催されている。

最後に、篠原理事より第37回日本診療放射線技師学術大会の演題募集開始日が、新型コロナウイルスの影響で1日変更となることについて、富田副会長より新事務所の電話番号が決定しておらず、会誌3月号のみ記載せず発刊することについて、藤井理事より2022年度診療報酬改定に向けたアンケート調査への協力依頼があった。

詳細は、2020年度第8回理事会（臨時）議事録（抄）を参照されたい。





## 2020年度 第9回理事会 開催される (Web開催)

2021年2月27日(土)午後2時より、Web会議システムにより2020年度第9回理事会が開催された。開催に先立ち、上田会長からのあいさつとして、事務局の移転報告と新型コロナウイルス対応に加え、震災へのお見舞いが述べられた。

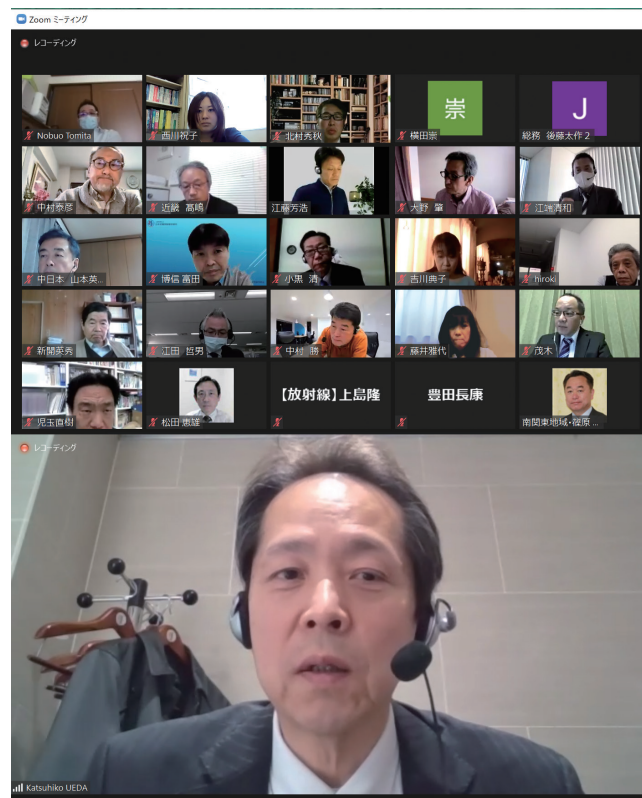
議題は、「2021年度事業計画案について」「諸規程見直しについて(特定費用準備金・その他)」「本年度の永年勤続表彰者・功労表彰者について」「第83回定時総会開催について」「原子力災害等における内部被ばく測定事業への協力について」「常勤役員就任に伴い規定する事項について」「次年度からの認定資格試験について」「JART委員委嘱について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入会者・退会者・会員資格喪失者の承認について」であった。

「2021年度事業計画案について」では、上田会長より次年度の主な事業計画案として、①新たな役割拡大に伴う告示研修の実施②医療放射線安全管理の推進③読影の補助、放射線検査説明事業の推進④診療報酬改定に向けた事業の展開⑤オンライン事業の推進⑥新しい生涯教育制度の展開⑦第37回日本診療放射線技師学術大会の実施⑧The 23<sup>rd</sup> AACRTの実施⑨事務局業務の効率化推進⑩綱領解説文および倫理綱領の周知活動——が挙げられた。全ての事業計画案が賛成多数で承認された。

報告事項は、「会長・業務執行理事報告」「2020年度期中往査報告」「定款改正(案)について」「会員動向報告」「月次決算報告」「2021年度厚生労働省研究班医療従事者需給調査への協力」「JRS・JCR・JSRT・JARTによる4団体会議の

開催について」「綱領見直し委員会報告」「告示研修の都道府県技師会共催に関する意向調査結果について」「厚労省MS会議の報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「調査委員会報告」「医療被ばく安全管理委員会(医療被ばく低減施設認定更新報告)」「学術教育委員会報告」「国際委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「災害対策委員会報告」「入会促進委員会報告」「人材育成委員会報告」「臨床実習指導教育委員会(臨床実習施設登録報告)」「統一講習会実施運営委員会報告」「医の倫理審査委員会報告」「業務改善推進委員会報告」「第36回日本診療放射線技師学術大会について」「第39回日本診療放射線技師学術大会候補地について」「外部団体への役員派遣について」「地域理事報告」「新事務所移転実行委員会報告」であった。

最後に、今後のスケジュールの確認があり本理事会は終了した。詳細な内容は、2020年度第9回理事会議事録(抄)を参照されたい。



## 第2回チーム医療推進学会 開催される (Web開催)

2021年2月21日(日)に、日本理学療法士協会で第2回チーム医療推進学会がWeb開催された。主催のチーム医療推進協議会は、2009(平成21)年に医療専門職団体や患者会、そしてチーム医療に関心のある方々によって設立され、本会も創設時から参加している協議会である。

本学会は昨年度から開始され、今年は日本診療放射線技師会が開催担当となり、大会長に上田会長、実行委員長にチーム医療推進協議会副代表の佐野幹夫前副会長が任命された。

開会時には、チーム医療推進協議会顧問であり、元自民党総裁、衆議院議員であった谷垣禎一氏からのメッセージ(動画配信)と、田村憲久厚生労働大臣からのメッセージが紹介された。

今年の学会テーマは「with COVID-19 ～コロナ禍でのチーム医療～」として、次のプログラムで開催された。

口述発表では、現場がどのようなかたちでチーム医療に携わっているのかについて、17演題の発表があった。

シンポジウムは「コロナ禍でのチーム医療」をテーマに開催され、基調講演として厚生労働省医政局長の迫井正深氏によるご講演(動画配信)を頂き、その後、シンポジストとしてTBS解説委員の小島修一氏、臨床検査技師の佐藤智明氏



(国際医療福祉大学成田病院)、理学療法士の佐々木嘉光氏(日本理学療法士協会 理事)、診療放射線技師の尾形智幸氏(さいたま赤十字病院 技師長)が発表された。そして発表終了後には活発なディスカッションが行われた。

最後に、佐野幹夫実行委員長からの閉会のあいさつと、上田克彦大会長からの学会に参加された方々へお礼の言葉とともに終了した。

## 2020年度 消化管造影セミナー 開催される (Web開催)

2021年2月8日(月)午後7時より、2020年度消化管造影セミナーがWeb開催された。

プログラムは①「X線TV装置における日常点検の重要性」講師：天野祥吾氏(国立がん研究センター東病院) ②「胃疾患の上部消化管X線検査のポイント —進行胃癌の場合—」講師：安藤健一氏(みさと健和病院) ③「胃疾患の上部消化管X線検査のポイント —早期胃癌の場合—」講師：小豆誠氏(育和会記念病院)で、各30分の合計90分で行われた。

日常点検という基礎的なことと、胃癌診療における上部消化管造影をテーマにした2本立てで構成され、参加者は満員の70人であった。Web開催ということもあり、トラブル回避のため司会の鶴沼、講師の天野氏、安藤氏は技師会事務室で行った。小豆氏は大阪からの講演となったが大きなトラブルもなく、また動画を用いたプレゼンテーションもスムーズに行うことができた。

講義内容は、天野氏からはファントムを用いた日常点検の



重要性とトラブル時の対処法について、事例を提示しながら教えていただいた。安藤氏の講義では、Zoomの「手を挙げる」機能を利用した症例検討を行い、受講生を参加型にしたことは有意義であり、非常に盛り上がった。小豆氏の講義は早期胃癌における精密検査法であったが、そもそも治療を考慮した早期胃癌をX線造影で写し出すことは容易ではない。



がんの壁在性や肉眼型を理解することや、病態を写し出す撮影技術を習得していないと困難であるが、各部位における撮影の要点について症例を提示しながら丁寧に分かりやすく説明していただいた。

今日、新型コロナウイルスの影響で各講習会や研究会が軒並みWeb開催となっているが、全国規模の研究会などに容易に参加できるメリットは、コロナ禍における新しい発見で

あるといえる。今後、消化管画像分科会としてもWeb開催を中心として、検診のみにとらわれない消化管造影全般に関する講習会の開催を計画している。

最後に、講習会を開催するに当たりご協力いただいた講師・スタッフの皆さま、関係各位にお礼を申し上げます。

(消化管画像分科会 鶴沼清仁 (東京山手メディカルセンター))

## 2020年度 診療放射線技師国家試験問題評価委員会 開催される

2021年2月26日(金)、2020(令和3)年度診療放射線技師国家試験問題評価委員会が開催された。

2021年2月18日(木)に実施された第73回診療放射線技師国家試験(以下、本試験)に対して、診療放射線技師の基本的知識を適切に判断する内容であることを評価した。

主に「試験科目に関する評価」「本試験の問題に関する評価」「本試験の問題の難易度」「適切ではない箇所が見られた問題」などについて議論された。

また診療放射線技師国家試験作成の体系についても検討された。

検討結果では、例年と同様に「やや容易」から「標準的」であるが、いくつか難易度が高い問題も見られたとの評価であった。診療放射線技師の業務範囲は拡大されており、本試験のように200の問題数では、95単位のカリキュラムの修得を効果的に判断することは難しいため、問題数の増加が必要であると議論された。本試験では、試験委員の特色が影響している問題も見られ、診療放射線技師国家試験作成の体系を再度検討する必要があるのではないかと議論された。

その他の詳細な内容は、本委員会の報告書を参照されたい。

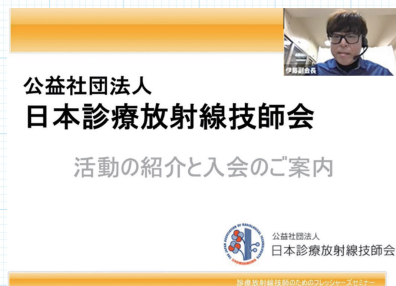
## 診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

### 神奈川県 (Web開催)

2021年1月24日(日)、神奈川県放射線技師会でフレッシューズセミナーが開催されました。本セミナーは、日本診療放射線技師会と神奈川県放射線技師会が共同で毎年開催している、新人技師を対象としたセミナーです。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためZoomウェビナーでのLive配信とし、21人の新人の方に参加いただきました。

プログラムは、医療人・社会人として必要な心得である「エチケット・マナー」から始まり、患者接遇やチーム医療の実践に必須の「医療コミュニケーション」、安全な医療の提供のための「医療安全・感染対策」などの

講義が行われました。また臨床に即した講義として「救急領域の脳神経画像診断」、被ばく低減の重要性やその実践について学ぶ「被ばく低減の基本」、さらに「気管支体操」の実演も取り入れた「気管支解剖等の理解・病気の理解」と、盛りだくさんの内容となりました。最後に、神奈川県放射線技師会 伊藤副会長により入会のご案内として、技師会の職能団体としての役割、生涯教育活動や社会貢献活動などについて分かりやすく解説いただき閉会となりました。コロナ禍でのWeb開催となり参加者間での交流を深めることができず残念ではありましたが、本セミナーが今後の診療の一助となれば幸いです。



公益社団法人神奈川県放射線技師会



# 2020年度 診療放射線技師基礎学術講習 (広島県)一般撮影 開催報告

公益社団法人広島県診療放射線技師会  
中四国地域教育委員 穂山 雄次 (広島大学病院)

2021年2月14日(日)、広島大学病院臨床管理棟で日本診療放射線技師会主催の診療放射線技師基礎学術講習一般撮影が開催された。受講申し込みは21人、当日の受講者は20人(広島県内19人、愛媛県1人)であった。「会場型講習会開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」を参考に、新型コロナウイルスの感染防止のための取り組みと対策を徹底し、人との接触の回避、対人距離の確保、手指消毒や咳エチケット、マスクの着用などのご協力を、講師・スタッフ・受講者全ての方々にお願した。

木口会長の開講式のあいさつで始まり、前田道利先生(株式会社日立製作所)による「診断用X線装置・画像処理装置」の講義では、一般撮影装置や透視装置、画像処理などの基本的な仕組みを分かりやすく説明された。続く田丸隆行先生(JA広島総合病院)による「胸部・ポータブル撮影」の講義では、胸部の解剖や多くの疾患画像を提示しながら説明いただいた。小鷹狩賢司先生(広島大学病院)からは「腹部・骨盤撮影」について撮影の役



基礎学術講習会一般撮影が開催された会場の広島大学病院 大会議室

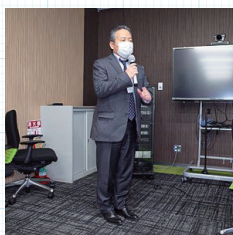
割や画像の見方を講義いただいた。

午後からの安藤英次先生(大阪ハイテクノロジー専門学校)による「脊椎撮影」では、頸椎の解剖や疾患、撮影方法や画像の見方などの説明と、腰椎撮影に関してはAP撮影と立位PA撮影を比べた臨床意義の高い撮影方法の重要性について解説いただき、Webセミナーとは違う講師からの熱意が伝わってきた。時間をいっぱいに使った講義であったが、受講者からもっと聴きたいとの意見もあった。高井夏樹先生(三菱神戸病院)には「上肢関節撮影」について、指関節から手関節・前腕骨・肘関節・上腕骨まで、骨と関節と靭帯と筋肉がつながっていることを分かりやすく丁寧に講義していただいた。

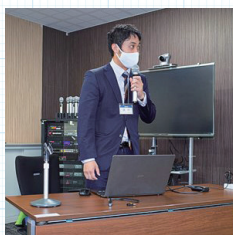
小村哲也先生(浜脇整形外科病院)は「下肢関節撮影」について自施設での多くの症例を提示され、撮影方法と画像所見を詳しく説明された。

この講習会で、診療放射線技師として必要な一般撮影の基礎知識と技術を身に付けることができたと思われる。今回、全国的にも高名な講師や県内のスペシャリストをお招きして講習会を開催したが、コロナ禍の影響もあり受講者が少なかったことは、非常に残念であった。

新型コロナウイルスの影響で、一時は開催も危ぶまれたが、このような状況においても、積極的に講習会へ参加し学ぶ姿勢を示された会員の方々に敬意を表します。また関係者の皆さまのご協力の下、無事に終了できたことに感謝申し上げます。



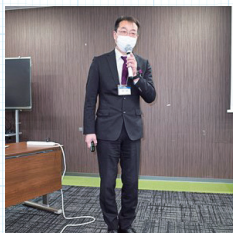
広島県診療放射線技師会  
木口雅夫会長



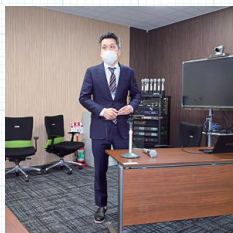
小鷹狩賢司先生  
(広島大学病院)



安藤英次先生(大阪ハイ  
テクノロジー専門学校)



高井夏樹先生  
(三菱神戸病院)



小村哲也先生  
(浜脇整形外科病院)



## 常勤役員着任される

2021年3月1日(月)より、江端清和理事(財務担当)が常勤役員として着任されることになった。本年度総会以降、常勤役員が不在であったが、常勤役員が着任したことにより、これまで以上に迅速な組織運営が図られることになる。



INFORMATION

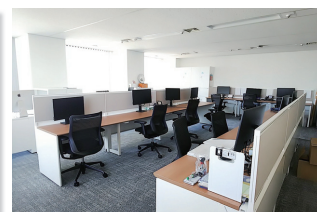
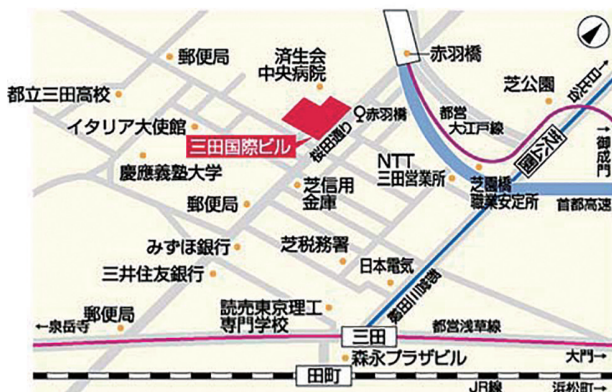
## 事務局移転のお知らせ

会誌、Network Now、ホームページでお知らせ致しました通り、このたび2月22日(月)に事務局を移転致しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、理事会や委員会など対面形式の会議からWeb会議への移行、テレワークの導入など、オフィス環境の最適化を図り、面積を移転前と比較して約3分の1と縮小し、経費削減を図りました。なお、移転作業中は、会員の皆さまに大変ご迷惑をお掛け致しました。ご協力を賜りましてありがとうございました。

### 新事務局住所

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル22階 TEL: 03-4226-2211 FAX: 050-3153-1519

### 新事務局アクセスマップ



## 論文投稿システム運用に伴う投稿規程改定の紹介

2020年11月より論文投稿がオンライン化されました。これに伴い、2020年度第6回理事会で本会が定める投稿規程が一部改定されました。

これまでは「原稿を正副2部提出し、正原稿には電子媒体にて当該データを添付」(旧投稿規程引用)して本会事務局に郵送する必要がありましたが、「オンライン投稿システムを用いて投稿する」(新投稿規程引用)と改定されました。電子化により紙媒体や郵送の手間をなくし、時代に即した形式に変更されています。

投稿規程は毎号会誌に掲載されています。またオンライン投稿ページからも閲覧可能です。上記内容以外にも変更された細かな項目がありますので、会員の皆さまには論文の執筆前に必ずご確認いただくようお願い致します。

なお、具体的なオンライン投稿方法については、本会会誌2020年11月号または本会Webサイトトップページ右側のバナー「論文投稿システムはこちらから Editorial Manager」をご参照ください。



INFORMATION



INFORMATION



第37回日本診療放射線技師学術大会  
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)  
第28回東アジア学術交流大会 (28th EACRT)



# 第5回 東京への道 Go To TOKYO



副実行委員長 野口 幸作

(公益社団法人東京都診療放射線技師会)

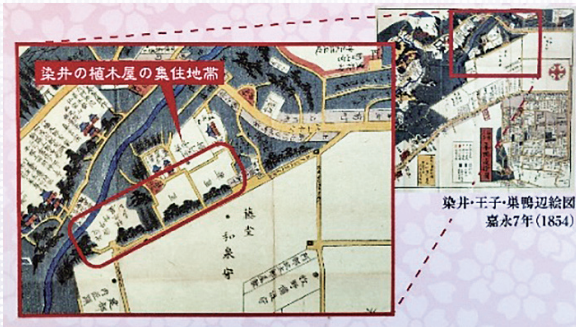


## 「秋に満開のサクラを咲かせよう」

Network Now (NN) のGo To Tokyoの作成に当たり、いろいろ考えた。東京の野菜の紹介、仏寺の案内など悩んだが、いまいち華がない。華？花！桜前線、開花予想など、桜に関する情報が耳に入る頃になってきた。そこで桜について書くことにした。

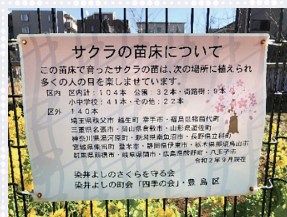
私の地元、豊島区駒込地区は、桜の代表的な存在である「ソメイヨシノ(染井吉野)」の発祥の地とされている。起源としては諸説あるが、主流として、江戸時代中期～末期に園芸種(母をエドヒガン、父をオオシマザクラとヤマザクラの雑種を交雑してできた、単一の木を原始とする)として生まれ、江戸の染井村の植木屋職人により育成され、葉より先に花が咲き開花が華やかであることが好まれている。花は中輪・一重咲きで、淡紅色の鮮やかな桜である。植木屋の接ぎ木・挿し木によって増やされ(つまりクローン)全国に広がり、アメリカ・ヨーロッパ・中国・韓国へも寄贈されている。

現在、ほぼ日本全域に分布する桜であり、気象庁が沖縄県以東、札幌以西の各地の桜の開花・満開を判断する標本木としている。ちなみに標本木は、沖縄県ではカンヒザクラ、札幌以東・根室以西はオオヤマザクラ、根室はチシマザクラだそうである。



昔の染井村(豊島区郷土資料館蔵を加工)

現在の駒込地区は、植木屋どころではなく住宅街である。通り沿いのソメイヨシノの桜は至る所で、人々に目の保養と心の安らぎを与えている。地域が小学校などの施設へソメイヨシノを提供し、普及活動も行っている。皆さまの近くのソメイヨシノはここから始まったのですよ…と私は言いたい。このNNが公開される頃には、満開の桜のニュースが全国を駆け巡っていることと思われるが、コロナ禍の状況もあり、花見だの、宴会だのと言っている状況ではない。



地域の方々が住宅街の真ん中でソメイヨシノの普及活動を行っている

学術大会の準備も着々と進んでいる。診療放射線技師みんなが楽しめる、with コロナの時代に合った今までにない学術大会にすべく、実行委員全員で心一つに、“東京魂!”で進めている。今年の秋に、東京ビッグサイトの地で学術大会というサクラを満開に咲せるべく奮闘している。ぜひ、皆さまのご参加をお願いしたい。





# 第37回 日本診療放射線技師学術大会

37<sup>th</sup> Japan Conference of Radiological Technologists

第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23<sup>rd</sup> AACRT)  
第28回 東アジア学術交流大会 (28<sup>th</sup> EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう  
*Lets promote team medical care with the nation*

## 技術の多様性と人の調和 Diversity of technology and Harmony of people

- 2021年11月12日(金) ▶ 14日(日)
- 東京ビッグサイト



〈Web併用〉

会長  
President

上田 克彦 Katsuhiko UEDA  
公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長  
Chairman

篠原 健一 Kenichi SHINOHARA  
公益社団法人 東京都診療放射線技師会会長

■ 運営事務局  
公益社団法人東京都診療放射線技師会  
<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcrt/>  
E-mail: taikai2021@tart.jp

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会  
共催 公益社団法人 東京都診療放射線技師会  
後援 厚生労働省(予定)  
東京都(予定)

## 人とのつながり



4月は年度の始まりで、入職される方、転勤される方、部署が変わる方、役職が昇格される方など、新たな一步を踏み出す方が多いことと思います。

小職は転勤がある組織に入職しましたので、働き始めてから二十数年経過していますが、5回勤務地が変更になりました。

転勤すると、その施設のルールなどを新たに知る必要があり、放射線診療に使用する装置も今までのものとは異なり、使いこなせるまでに時間がかかります。引越しが必要になれば、その手配や事務的な手続きなど、転勤に少し労を費やします。

また新たな一步を踏み出す際は緊張します。しかし、転勤によって多くの施設の特色も感じる事ができて、また多くの先輩からいろいろと学ぶことができ、後輩や同僚たちとのつながりも増えて、人生が良い方向へ180度変わった出会いもあり

ました。人とのつながりが多くなり、悪いことばかりではないと感じております。

新たな放射線診療を行おうとするとき、何か物事を行おうとするとき、何かを作成しようとするときなど、いろいろなきに、人とのつながりによって支えられることを実感します。身近な場合には、自分だけで考えた資料はどうしても多くの不足が見られ稚拙でしたが、皆さまのご意見が良い資料にしてくれます。非常にありがたいです。他にも何か大変なとき、人の支えは本当に大事なものだと感じます。

普段はあまり感じにくいものかもしれませんが、改めて人とのつながりを意識してみたいと考えています。

(文責：北村秀秋)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt00000603l.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt00000603l.html)

## 本会への入会手続きについて(お知らせ)

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-4226-2211 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。